

ふかまちのまど

第三〇九号 二〇二一年二月一日
発行元 深町連合町内会
連絡先 〇六三三二九二

連合町内会活動報告

毎年恒例の
おせち料理のお届け

深町連合町内会
会長 秋廣 勲

令和元年最後の町内会行事として1人暮らしの高齢者に「おせち料理」をお届けする為、女性会、はなみずきの会のご協力により、二十八日にコミュニティ調理場の消毒と買い出し、二十九日に調理、折詰めを行いました。食材購入費用は、赤い羽根共同募金を財源に三原市社会福祉協議会より助成金を頂いて実施しています。地産地消となる様に深芋、黒豆、銀杏など深町産も使いました。



深町連合町内会の方々

今回は中国新聞社より取材に來られ、三十日の朝刊・備後ページに載りました。

三十日の午前中に今回は十人の方々へ民生委員と連合会長で配付を致しました。社会福祉協議会2名の方がおせち料理配付前に來られ感謝の挨拶を頂きました。

深町単独のおせち料理は八年目ですが女性会、はなみずきの会以外の町内会方々が積極的に参加することが継続可能となる「カギ」と考えます。

今回調理いただいた方々に感謝致します。

「写真は中国新聞社提供」

藤井川一斉清掃のお願い

二月十六日(日)に深町町内の河川の清掃を実施致します。

当日は小学校の廃品回収と重なっておりますが、皆様のご協力、全戸参加をお願い致します。

今回、如水館高等学校の生徒の方々の清掃協力は都合によりありません。

寒波、大雨等による気象状況によつては二月二十四日(月)に延期します。

第15回三原市民ビーチボール大会を終えて

深町連合町内会
体育部長 安藤 志保

1月19日(日)リーグヨンプラザにおいて、ビーチボール大会が開催されました。選手、監督、審判、応援に駆けつけてくださった皆様、ありがとうございました！
今年度は諸事情により、小学生部門のみ出場しました。



男女とも予選敗退を喫しましたが、男子は優勝チームから1セット奪う善戦。女子は三位決定となる試合でセットカウント1対1に追いつき、第3セットで7対7に追い上げた後、連続得点されてしまい、どちらも残念でした。

深小学校体育館での初回練習時はどうなることかと思いましたが、さすが子ども達！飲み込みよく、たった二日間(計4時間)の練習で、よく頑張りました。また、体育館での練習の準備・後片付けを率先して行う子ども達の様子を、とても頼もしく感じました。

体育部の今年度の行事は、これが最後となります。至らない点が多々あったと思いますが、皆様のご協力のおかげで一年間の行事を終えることができました。心から感謝申し上げます。

次年度の市民体育大会やビーチボール大会に「出てみたい」「興味がある」という方は、お気軽に、お知らせ・お問い合わせください。

深町子どもを守る会

子どもをみんなで
守りましょう。

深小の子供は



○午後四時過ぎに下校します。

※下校時間は日によって、異なることがあります。

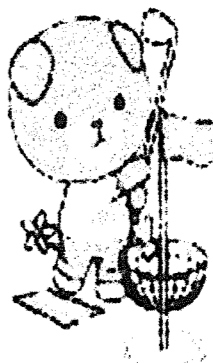
○近所で、遠くで、みんなで見守りましょう。

○あいさつ

声かけをしましょう。

TBG協会だより

第九十三回三原市月例ターゲット・パードゴルフ大会



第九十三回三原市TGB月例会が、十二月二十一日(土)に、深町・城山コースにて行われました。

成績は次の通りです。

- 一位 井上 幸子
- 二位 藤岡 正胖
- 三位 天木 雅之
- ベスグロ六十五 井上 幸子
- ホールインワン 藤岡 正胖×2個
- 二人組戦 船本 雄三
- 一位 竹ノ内洋子

コミュニティボックス 設置のお願い

この度ニチエー中之町店様にコミュニティボックスを設置する事になりました。

ニチエー中之町店で買い物された時のレシートを入り口横のコミュニティボックス「三原ターゲット・パードゴルフ協会」に投函頂きますようお願いいたします。

期間は令和二年二月一日より四月末日までの三ヶ月間です。

※選手の敬称略
TBG事務局 天木 雅之
(TEL 六三三二九〇)

深町・中之町南の世帯及び人口(H30年・R元年末現在)

年月日	町名	世帯	人口		
			男	女	計
H30. 12. 31現在	深町	461	531	545	1,076
	中之町南	48	59	71	130
	計	509	590	616	1,206
R元年. 12. 31現在	深町	469	525	537	1,062
	中之町南	47	58	66	124
	計	516	583	603	1,186

深町各種団体二月行事予定

- ◆連合町内会 一六日
- ▼河川清掃
- ◆小学校
- ▼租税教室(6年)委員会 三日
- ▼二中出前授業(6年) 四日
- ▼二中説明会 五日
- ▼薬物乱用防止教室 六日
- ▼入学説明会 役員会 七日
- ▼放課後子ども教室 一三日
- ▼避難訓練(不審者) 一四日
- ▼廃品回収 一六日
- ▼深の子を育む会 二一日
- ▼ぼけつとさん 二七日
- ▼参観日 二八日
- ◆如水館中学・高校
- ▼進路ガイダンス(高一) 五日
- ▼学年朝会(高一) 六日
- ▼学年朝会(高二) 七日
- ▼学習発表会(中) 八日
- ▼身だしなみ週間・面接(高) 一〇〜一七日
- ▼進路ガイダンス(高二) 一二日
- ▼数学検定 一五日
- ▼研修旅行報告会(高一・高二) 二六日
- ▼期末テスト(中三) 二七〜二九日
- ▼卒業式予行・送別式 二九日

就労継続支援B型事業所 やつさ工房だより

就労継続支援B型事業所 やつさ工房 光野
今年も二月八日〜九日(土・日)に三原城跡歴史公園で神明市バザーを開催しております。



温かいコーヒー等を販売いたします。自主製品の革製品も同時に販売しています。みんなで作った作品を見ていただきたいと思っております。

深町をみんなでこみのない
きれいなまちに
犬のふんは飼い主の責任で
しまつしましょう。

ニュージールランド留学報告

高校二年 島村 美優

私は、この一年間のニュージールランド留学を通じて、外国人の人たちに対する考え方が変わりました。

留学前、私の外国人への印象といえば、たばこ、お酒などといったネガティブな部分しか想像していませんでした。それで、私は、留学することを恐れていました。そのような考えの中で、ニュージールランドの学校に行つたときは、その感情と同時に、留学先で日本人とかかわってはいけない、日本語を話す場ではないという気持ちもありました。しかし、私の通つた学校の留学生には日本人しかおらず、話す相手となると、ニュージールランド人、いわゆるキウイの人たちと関わるしかありませんでした。日本人とは話してはいけない、でも外国人はこわい。でもやらな

しかし、キウイの人たちと関わっていく中で、少しずつ自分の考えている外国人の人たちのネガティブな印象がなくなっていきました。確かに、嫌な人たちはいました。日本人の悪口を言っている人たちもいました。でも、それ以上に私にやさしくしてくれる人たちが多かったです。私の通つた学校は、小中高一貫のキリスト教の学校だったので、小さい子と関わることも他の学校より多かったです。小さい子は、中高校生より話すスピードが遅く、使っている単語も簡単だったので、良いトレーニングになりました。また、キリスト教の学校だということもあり、汚い言葉を聞くことは少なかったです。



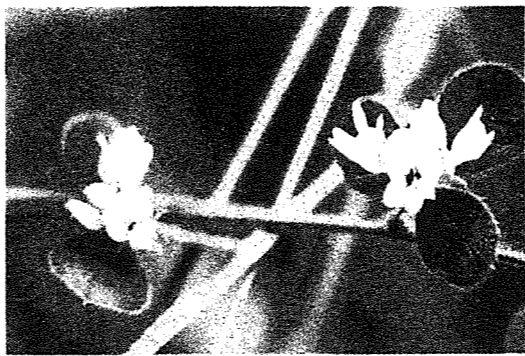
私は、この一年間の留学にとっても満足しています。ニュージールランドの友達ができたり、その子たちと遊びに行ったり、その子たちに行つて夕飯を食べさせてもらったり、友達の好きな子の話をしたり、フオーマルの準備を一緒にしたりしました。本当に充実した一年間だったと思います。

また、それと同時に、自分から行動しないと何も起こらないとい

うことを実感しました。例えば、私にはソフィという女の子の友達があります。今ではとても仲の良い友達です。その子は、私がランギオラニューライフスクールに入學したと同時に学校へ転校してきて、ソフィに話しかけました。その時、私が行動していませんでした。私たちは知り合ってもいなかったと思います。本当にあの時、勇気を出して声をかけてよかったと思えました。

深町の植物

力石 卓夫 (三原市宗郷)



《ネコハギ》

ネコハギの名前の由来は、茎や葉に白い毛がたくさん生えておりこれがネコ毛に似ているからと言う又丸い小さな三つ葉がネコの足の肉球にも見える。

※九月十五日撮影

笑いは百薬に勝る(第七回)

笑い上手は生きかた上手

日本笑い学会副会長 医師 昇 幹夫

思

これは心のもち方、どんな姿勢で人生を生きるかということ。極楽とんぼの楽家が元気で長生きしていることは先に述べました。米国では性格を行動パターンで分ける方法があり、タイプAは競争心や敵意、成功意欲が強いタイプで、現代の企業戦士として有能ですが心臓病をおこしやすく、過労死、突然死予備軍です。タイプBはゆったりとしたマイペース型でAとは対照的な性格です。そしてAはBに比べ、心筋梗塞になる危険性が二倍以上高いとされています。日本人はどちらが多いか、日

米の大学生二百人の性格テストを東京都の精神医学総合研究所が行なったところ、アメリカ並みのタイプAより、日本的な「隠れタイプA」と呼べるものが多いという結果でした。これは米国人にはない特徴で、他人への敵意、怒りなどの衝動を抑えこんでしまいストレスのはけ口がないタイプで、かえって高血圧など心身に与える影響は、タイプAより深刻なようです。

③性格と病気の関係

病気になりやすい性格なんてあると思いますか？ 前述のように激しい感情は心臓に悪い、これはわかりやすいですね。昭和五五年大平首相が、総選挙前の演説中に急死したのも、昭和六〇年に田中首相が竹下さんと大激論の直後、脳梗塞で倒れたのもいづれも怒りのホルモン、ノルアドレナリン等の物質がたたくぶん分泌され血管を収縮して血圧を上昇させ、血液を固まりやすくさせて血管が詰まったことが考えられます。またこんなデータもあります。ある公認会計士の方ですが、非常に忙しい時とゆつくりした時の血液データを比べると、なんと前者の方が血液が固まりやすく、コレステロールの値も高いのです。そうすると動脈硬化や心筋梗塞、脳梗塞になりやすいわけですね。

アメリカのジョンズホプキンス大学医学部で、入学した学生の性格調査をして三つに分けました。A群は、物事を確実に、ゆつくりやる、忍耐強いグループ。B群は、非常に明るく活発で人付き合いのよいグループ。C群は、非常に頭はいいけれど、気分屋でなにをやっても長続きしないグループです。この三つについて三〇年後にどんな病気にかかったかを調べてみると表1のように明らか

性格と病気			
	A (28人)	B (39人)	C (60人)
病気が正常	0	0	1(1)
異常	4(2)	4	12(5)
精神異常	6	8	12
高血圧	3(1)	0	11(6)
心筋梗塞	13(3)	13(0)	37(3)
全体としての病気(数)	46.4	33.3	61.7
(%)			

表1 ジョンズホプキンス大学(医)卒業生の性格と病気の関係

最近のはがんと精神状態のあいだにも密接な関係があるという研究も多くみられます。図1は英国の有名な医学雑誌に、乳癌患者の心の状態と生存率という題で発表されたものですが、一三年間にわたる追跡調査では、フアイディング

スピリット(闘争心)を持って癌と闘った人の十年の生存率は八〇%、自分の病気を否定した人は五〇%、仕方がないと病気を受容した人三三%、絶望した人二〇%でした。これがモンブラン登頂で有名な癌の生きがい療法の根拠でもあるのです。

心と病気の関係を研究していた中川俊二先生は、御自身が五十六歳のときに胃癌にかかったのを機に、癌になりやすい性格というものがあるかどうか、そして癌の自然退縮(自然に治った例)はどういう人におこりやすいのかを研究しています。癌の自然治癒例は、昭和四十七年以降十四年間で六十九例にもなり、それを十年間毎年、日本癌治療学会に発表されました。その反対に、どんな人が癌になりやすいのか、発病前の生活など詳しく調べてみると、欧米でも日本でも悲観的な生き方や、感情抑圧型といった共通点が見られました。また怒りを外に出さない、常に自分を抑えて他人を立てる、腹の立つこと、がっかりすることがあっても運命と諦める傾向や、発病前に親しい人を亡くすショック体験もありました。

自然退縮例では、やはりプラス思考やユーモアの心、病気と戦うガン・フアイター魂、楽道家という特徴が見つかりました。これから考えても、前向きで明るい人生をおくるのが、癌になりやすく、なつても治りやすいといえます。

お葬式から四十九日まで七日毎に親戚、友人が集まって法要を営む日本の習慣は、残された人々を慰め、死別ストレスをやわらげて後追ひ癌の防止に役立つスゴイ生活の知恵だと感心させられますね。

ガン患者の心の状態と生存率

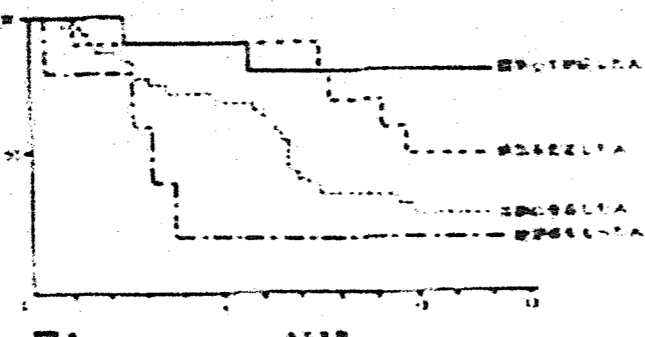
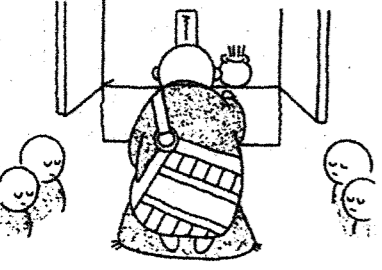


図1



次号へつづく